
今日の方

2026年6月1日 ～ 6月7日

翻訳 ハンコック 真由美

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は新改訳聖書第三版を使用しています
※翻訳・編集以外でも協力して下さっている兄弟姉妹がいます

御茶の水キリストの教会

6月1日(月)

平 安 を 追 い 求 め る

聖書朗読 コロサイ人への手紙 3:12～17

肉の思いは死であり、御霊による思いは、いのちと平安です。

ローマ 8:6

経済的にはお先真っ暗で、過密なスケジュールに追われ、健康面で問題をたくさん抱えている人もいます。たとえそうであっても、その人の心は平安かもしれません。その一方で、銀行にはお金が十分あり、優雅な暮らしをし、申し分のない健康な体を持っているものの、平安な気持ちを持ってない人もいます。

ある有名なジャーナリストがこう言いました。「私の知っている最も惨めな人というのは、あらゆるものを持っていても、人生を楽しむことが出来ない人です。」

私たち人間の間違いは、財産、名声、地位、権威など心に平安をもたらさないものを追い求めてしまうことです。これらのものは、この世の神々とも言えるものであり、平安を生み出すことはありません。

しかし、私たちの信じる神様にはそれができます。イザヤ 26:3にこう書いてあります。『志の堅固な者を、あなたは全き平安のうちに守られます。その人があなたに信頼しているからです。』平安は内から外へと溢れます。外から内へと入ってくるものではありません。

讃美歌 280 わが身ののぞみは

祈 り 天の父よ。平安を求めてあなたの御前に来ました。私たちは 財産、地位、快楽を求めがちです。それらで満たせば、内なる不安が無くなると思ってしまう。しかし、あなたは、真の平安はうわべのものの中にはなく、あなたに全幅の信頼を置くことにあるのだと思い出させてください。イエス様のお名前によって。アーメン。



テキサス州 ヒューストン / ジョー・バーネット

6月2日(火)

誰が栄光を受けるのか

聖書朗読 テサロニケ人への手紙第一 3:9

むしろ、愛をもって真理を語り、あらゆる点において成長し、かしらであるキリストに達することができるためなのです。
エペソ 4:15

誰かが神様のための働きをして成功しているのを見て、ちょっとした嫉妬心を抱いた事はありませんか。もしかしたら、それはあなたがしようと考えていたことだったかもしれないですね。

使徒パウロはテサロニケのクリスチャンたちに手紙を書く機会を得ました。パウロもテサロニケ教会も排斥と迫害に直面していました。そしてパウロはゆくゆくその地を去ることを強要されました。辛い経験がまだ記憶に新しいにも関わらず、パウロは彼らの信仰と教会の発展を大いに喜んだのです。パウロは他のクリスチャンたちの成功を自分の喜びとしていました。彼らの成長を自分自身の成長とし、その喜びをどんなに神様に感謝しても感謝しきれないほどだと考えていました。

私たちはこのことから学ぶことができます。誰かが目標を達成したり、アイデアが認められて、ほめられている時、神様に栄光を帰しましょう。その人たちのために祈りましょう。励まし応援しましょう。彼らの勝利をお祝いしましょう。そして、思い出してください。からだは一つ、かしらは一つです。かしらはイエス・キリストです。

キリストのもとで忠実にお仕えするクリスチャンが勝利する時、パウロのように大いに喜ぼうではありませんか。全ての栄光が神様にありますように。

讃美歌 73 くすしきかみ

祈り 天の父よ。キリストのからだの中に自分の居場所を探す時、あなたの霊が導いてくださいますように。他の人が成功する時、一緒に喜ぶことができますように。イエス様がかしらである事を忘れる事がないように。イエス様のお名前によってお祈りいたします。アーメン。

オレゴン州 フィロマス / ウィリアム T・マックコーアン

6月3日(水)

腹を割って話す

聖書朗読 ヘブル人への手紙 4:13~16

あなたがたの寛容な心を、すべての人に知らせなさい。主は近いのです。
ピリピ 4:5

どんな時でも頼ることのできる友人はいますか。その友人は心の底から信頼できて、口が固く、話したことを他に漏らさない人ですか。私たちには神様に率直な気持ちを打ち明ける祈りが必要な時があります。

キリストに従う私たちは宇宙の偉大な創造主と話ができるのです。なんという特権でしょう。私たちはいつでも何のことも祈ることができるのです。なぜなら、神様は私たちのことをいつも心にかけてくださっているからです！ それがお約束です。

ハンナは、I サムエル 1:13に書かれているように、息子を授かることを心から望み祈りました。ザカリヤも不安を覚え恐怖に襲われたとき、祈りを必要としました。(ルカ 1:13)イエス様は時折、夜通し祈られました。私たちの祈りは常に自分が思っているような答えが与えられるとは限りません。しかし、祈りは聞かれると信じています。神様は私たちが困難な時にいつも近くにいて慰めてくださり、私たちが真に必要なもので祝してくださいます。神様は私たちの抱えている問題をご存知なので、心配しないで神様に心を打ち明けることができるのです。

私たち人間が、何が自分の子どもに良いものかがわかるように、神様は私たちに最善のものをご存知なのです。私たちは神様の確かな愛の中で憩うことができます。

讃美歌 310 しずけきいのりの

祈り 親愛なる父よ。私たちを祝福してください。あなたは私たちの必要をご存じです。あなたのみことばにとどまり、あなたのそばで生きることができますように。イエス様のお名前でお祈りします。アーメン。



ノースカロライナ州 ローリー / キャロリン・イエイツ

6月4日(木)

希 望

聖書朗読 ヘブル人への手紙 6:13～20

約束された方は真実な方ですから、私たちは動揺しないで、しっかりと希望を告白しようではありませんか。
ヘブル 10:23

「私には大金持ちの叔父がいと分かった。」「見知らぬ誰かが私に多くの財産を残してくれた。」そんなことがあったらいいなと考えたことはありませんか。しかし、そういう望みが叶うことは多分ないでしょう。

クリスチャンにとっての望みは単なる楽天主義ではありません。それは神様によって確証された普遍的なしっかりしたものです。神様のお約束は、薄っぺらな願いではなく、揺るぎないものであり、必ず間違いなく実行されるものです。

ヘブル書は、希望とはイエス・キリストを通しての普遍的な神の約束であると思わせてくれます。『この望みは、私たちのたましいのために、安全で確かな錨の役を果たし、またこの望みは幕の内側にまで入るのです。』(ヘブル 6:19)

イエス様にある希望は、ただの楽観的なものではなく、頑丈な岩に繋がれた錨のように、私たちの人生の基礎であります。人生の嵐の時も私たちが揺るがないように支えてくれます。なぜなら、この希望は神様のご性質と真実によるものだからです。

イエス様に従う者には不確な事、不透明な事はないのです。

讃美歌 280 わが身の のぞみは

祈 り 親愛なる主よ。あなたは偉大で宇宙でただお一人の神であられます。あなたをほめたたえます。確かな約束の保証と、人生の先にある、あなたとの永遠の暮らしをありがとうございます。イエス様のお名前によって。アーメン。

オクラホマ州 エドモンド / リン・マクミラン

6月5日(金)

証 人 の ひ と り に な る

聖書朗読 ヘブル人への手紙 11:17～34

それは、あなたがたが、非難されるところのない純真な者となり、また、曲がった邪悪な世代の中にあって傷のない神の子どもとなり、
ピリピ 2:15

ロトの妻(編注:創世記 19:26)とイゼベル(編注: I 列王記 21章)と言えば、何を思い浮かべますか。かなり昔に生きた人たちですが、彼女らに関わる物語は忘れ去られることはありません。今でも、「なぜロトの妻は後ろを振り向いたりしたんだろう。」とか、「イゼベルはどうしてあんなに残酷だったのだろう。」とか話題になります。彼女らの行いは今の時代でも語られ、自分の行いには責任が伴い、周りの人に影響を与えるのだと思い出させてくれます。

実は、あなたも影響を与えているのです！ 誰からも見られていないとか、自分は重要人物でないと思っても、誰かがあなたを見ています。キリストをまだ知らない人は聖書を一度も手に取ったことがないかもしれません。しかし、そういう人は聖書を読むずっと前に、あなたを“読む”かもしれません。

ヘブル書の新しい章が今日書かれ、今の時代に生きる信仰的な男女にスポットライトを当てたと想像してください。あなたのことをどのように書くでしょうか。実際のところ、既に書かれているのです。羊皮紙にはないですが、あなたの信仰による行いを見ている人の人生に書かれています。

さあ、今日、神様の恵みと愛の中に生きましょう。あなたの生き方が周りの人にイエス・キリストの福音を指し示すような魅力ある証人になりましょう。

讃美歌 379 見よや 十字架の

祈 り 天の父よ。私たちの生き方が周りの人への公開書簡なのだと忘れませんように。あなたの愛が私たちを通して輝き、人々があなたに引き寄せられますように。イエス様のお名前によって。アーメン。

テネシー州 マッケンジー / アルマ L・ジョーンズ



6月6日(土)

聞 く に は 早 く、語 る に は お そ く

聖書朗読 ヤコブの手紙 1:19～20

しかし、だれでも、聞くには早く、語るにはおそく、怒るにはおそいようにしなさい。人の怒りは、神の義を実現するものではありません。ヤコブ 1:19b～20

世の中が騒がしくなってきました。毎日、見出しが踊り、SNSは騒然となり、数分のうちに様々な意見が画面の上を駆け巡ります。クリスチャンでさえ、いえ、クリスチャンだからこそ、鋭い言葉や迅速な判断ですぐに対応しないといけないというプレッシャーを感じます。しかし、ヤコブはもっと良い方法を教えてくれています。

『聞くには早く、語るにはおそく』は、ただの立ち居振る舞いの話ではありません。それはキリストの弟子としてどう行動するかです。最新のニュースやSNSの投稿に心をかき乱される前に、神様の知恵によって私たちの応答を矯正していただくことなのです。私たちが聞く最新のニュースというのは、結構な頻度で正確でなかったりするのです。私たちが怒って発する言葉は、結構な頻度でキリストの愛を反映していないのです。

SNSに投稿したり、シェアしたり、コメントを書く時、一旦休止するとどうすることが起こるか想像してください。一旦休止して、注意深く聞いて、識別するために祈り、こう神様に尋ねます。これは神様の栄光をあらわすのか、誰かがイエス様をはっきり見る助けになるか。このように、すぐに反応しないで一旦休止するやり方は、世の中の主流ではありません。

すぐにリアクションしないで我慢し、怒りにまかせないで祈りましょう。すると、騒音は真実にかき消されます。そうすることによって、他の人に自分の意見を言うのではなく、真実なお方を指し示すことができるのです。

讃美歌第二編 80 み言葉をください

祈 り 父よ。すぐ語り、すぐ怒る世の中にいる私が一旦休止することを学べますように。良く聞いて、知恵を持って語り、全ての応答にあなたの愛を反映することができるように助けてください。イエス様のお名前。アーメン。

フロリダ州 デスティン / サラ・クラーク

6月7日(日)

何 が あ な た を 蝕 ん で い る の か

聖書朗読 ペテロの手紙第一 5:6～7

そのために、私はこのような苦しみにも会っています。しかし、私はそれを恥とは思っていません。というのは、私は、自分の信じて来た方をよく知っており、また、その方は私のお任せしたものを、かの日のために守ってくださることができるかと確信しているからです。 II テモテ 1:12

最近、教会関係の若者向けのイベントがありました。その時、150人の若者が共通の悩みを打ち明けました。多くの若者が不安、心配事、恐怖、低い自己肯定感に悩んでいました。これらの祈りの課題が読み上げられ、聖書との結びつきに焦点が当てられました。これまで生きてきた人に必要だったように、現代の若者にも聖書と自分との結びつきを持つことが必要です。

パウロは、1コリント10:13で『あなたがたの会った試練はみな人の知らないものではありません。』と書いています。それぞれの世代の人が同じ悩みに直面します。心配するということは、弱さというより、神様の権威とお守りを信じあぐねているという不信仰のかたちです。

良い知らせがあります。神様は私たちに、思い煩いをいっさいゆだねるようにと勧めています。神様が私たちのことを心配してくださるからです。(I ペテロ 5:7) 心配事が起こった時、みことばに聞いてください。テモテ II 1:12、ピリピ 4:6～7、マタイ 6:25～33、1ペテロ 5:6～7などの聖書箇所を開いて、神様の約束を思い出してください。神様は誠実で力があり、あなたを忍耐強くさせることがおできになる方です。神様が全てをご支配しておられます。ですから神様を信頼し、あなたの心配事をお委ねできるようにお願いしましょう。神様は偉大で力があり、真実なお方です。あなたの心の重荷が何であっても、頑張り抜くことができるようにしてください。

聖 歌 450 なにゆえみ神は

祈 り 親愛なる父よ。あなたが神であられ、自分で全てをこなす必要はないのだということを思い出させてください。信頼出来るあなたの御手に重荷を手放してゆだねることができますように。イエス様のお名前。アーメン。

テネシー州 スプリングヒル / デール・ジェンキンス